

5月の言葉『ギリギリ』

ゴールデンウイークからあつという間の一ヶ月でした。

今月の言葉も月末ギリギリにアップです。

母の介護を兼ねて生活拠点の一部を札幌に移しました。

現在夏をめどに札幌での仕事の足場を固める準備中です。

ヨーロッパでもタイム・セルマネジメントは南欧より北欧のほうが圧倒的に普及、浸透しています。

日本でも札幌を中心とした北海道がタイム・セルフマネジメントのリーダーになればと思っています。そこでの成功体験が全国に広がるような活動をしてみたいものです。

私も還暦を過ぎましたので、野心的な取組をするにはギリギリの年齢かなとも感じます。

あまりの長期の札幌滞在となったので摂取薬も切れ、気がつけば大幅な体重減と体調不良となりそれが長期滞在の一因にもなっていました。今回ほど齢を感じたことはありません。

ところでギリギリにはタイムマネジメントで言えば、期限とか締め切りとかのイメージにつながります。この期限とか締め切りは約束にもつながります。ギリギリ間に合うはなんとか約束を果たせたと通じるところがあるように思います。

ところが昨今はやっているアドラー心理学はちょっと違うようにも思います。「人に嫌われる勇氣」というアドラー心理学のベストセラーがあります。人に嫌われる簡単な方法はギリギリを諦めること、ギリギリにこだわらないことともいえます。

個人はストレスレスになるかもですが、社会性は破綻することになります。

小協会の提唱する両極併存で考えるとバランスが大事だと思います。

ということで今月はギリギリのところで社会性を死守した今月の言葉でした。

2016年5月31日

日本タイムマネジメント普及協会

理事行本 明説（逆から音読みするとセツメイホンギョウ）